

株式会社ワークマン

2020年3月期 第1四半期決算説明会

2019年8月8日



JASDAQ (7564)

- **第1四半期決算の概要**・・・・・・・・・・ P 3～P 10
- **今後の計画について**・・・・・・・・・・ P 11～P 21
- **2020年3月期決算の進捗**・・・・ P 22～P 23
- **第1四半期決算の詳細**・・・・・・・・・・ P 24～P 28
- **参考資料**・・・・・・・・・・・・・・・・ P 29

● 第 1 四半期決算の概要

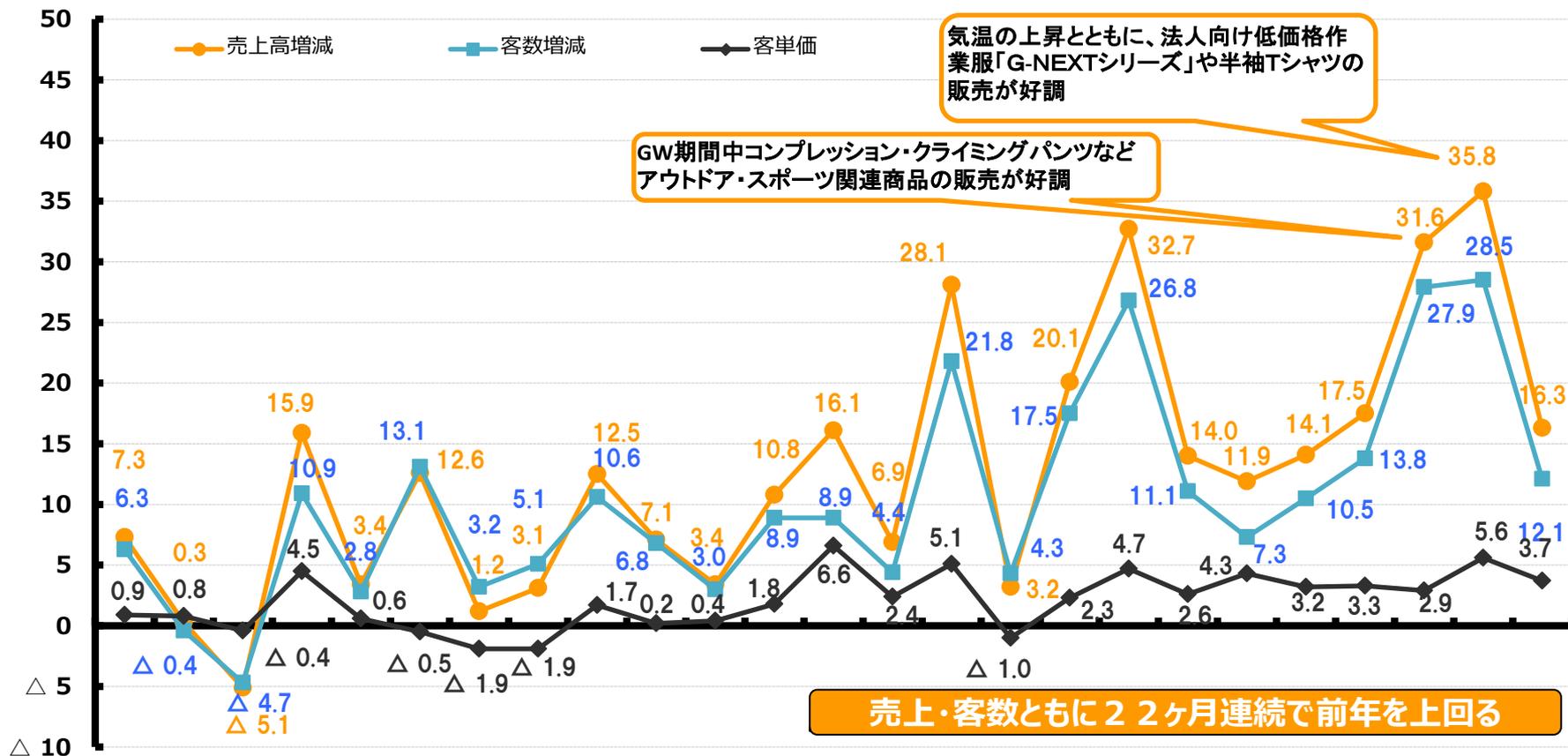
- 今後の計画について
- 2020年3月期決算の進捗
- 第 1 四半期決算の詳細

第1四半期決算の概要

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期	
	第1四半期累計期間(4~6月)		第1四半期累計期間(4~6月)	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	21,675	+8.6	28,858	+33.1
(既存店売上高)	-	+7.1	-	+28.7
営業総収入	14,898	+6.1	20,588	+38.2
販売費及び一般管理費	2,563	+5.8	3,282	+28.0
営業利益	3,023	+14.0	4,722	+56.2
経常利益	3,325	+12.8	5,071	+52.5
四半期純利益	2,104	+14.0	3,191	+51.7
1株当たり四半期純利益	25円78銭		39円11銭	

■ 既存店売上・客数・客単価増減



■ 出店はすべて

2019年6月末 843店舗
(2019年3月末比 +6店舗・2018年6月末比+17店舗)

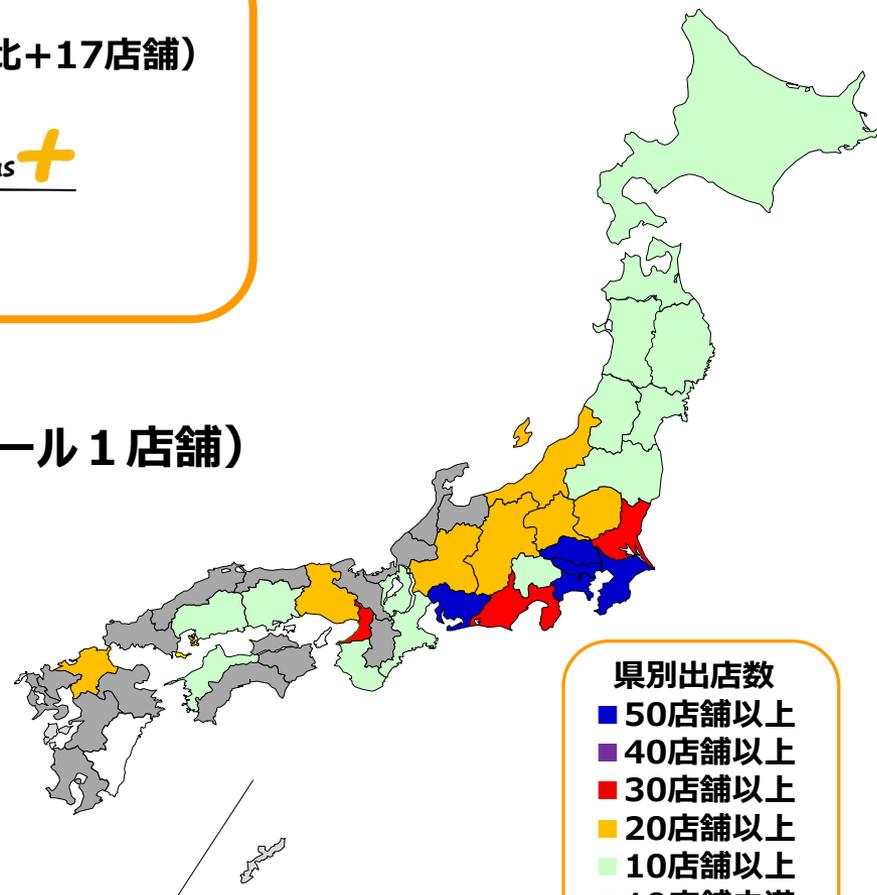


WORKMAN
814店舗



WORKMAN Plus
29店舗

- 開店 6店舗
(ロードサイド5店舗・ショッピングモール1店舗)
- スクラップ&ビルド 3店舗
- 改装転換 8店舗
- 鹿児島県への初出店



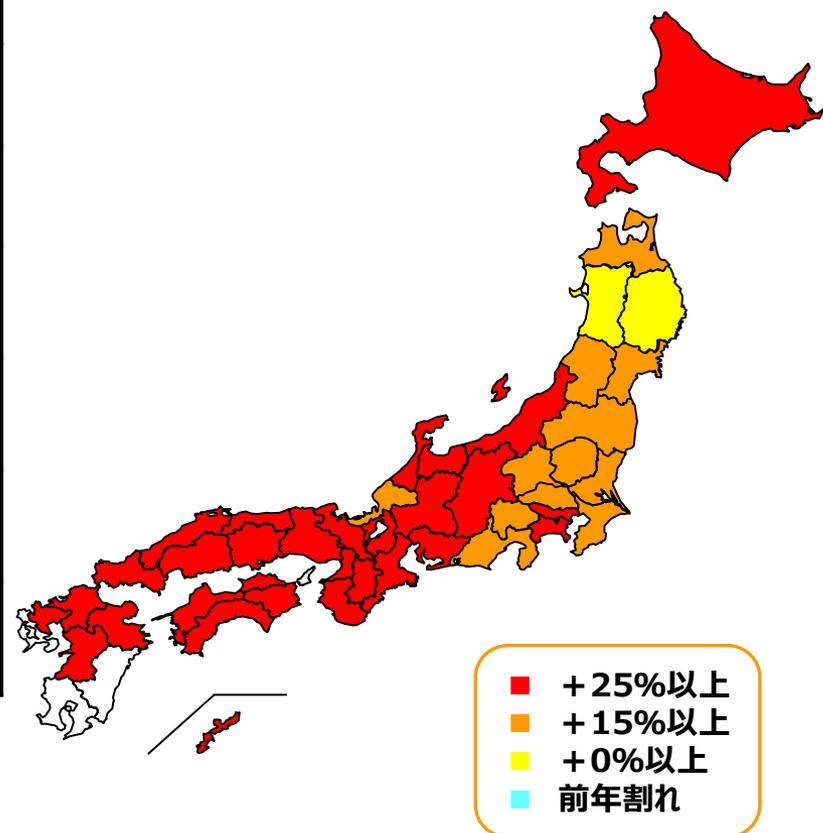
■ チェーン全店売上高 288億58百万円

- 西日本を中心に前年を大幅に上回る状況

	チェーン全店	既存店
売上高	+33.1%	+28.7%
客数	+27.7%	+23.7%
1日平均客数	-	141人 (+27人)
客単価	2,766円 (+0.4%)	2,763円 (+0.4%)
点単価	1,019円 (+70円)	1,015円 (+65円)
1人当り買上点数	2.7点 (▲0.1点)	2.7点 (▲0.1点)

※1日平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

<県別既存店売上高前年同期比>



販売状況（商品別売上高と要因）

■ チェーン全店商品別売上高

カテゴリー別	2019年3月期 第1四半期累計期間		2020年3月期 第1四半期累計期間		要 因（前年同期比）
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル等	2,019	+11.1	2,571	+27.3	・防暑スリーブ（+67.6%） ・サマーレギンス（+73.1%）
カジュアルウエア  ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック等	2,949	+11.0	4,296	+45.6	・コンプレッション（+84.0%） ・半袖Tシャツ（+50.9%）
ワーキングウエア  作業服・つなぎ服・着衣料等	6,757	+10.2	9,002	+33.2	・サマーカーゴパンツ（+67.6%） ・空調ファン付作業服（+121.4%）
ユニフォーム 女性衣料・白衣・オフィス等	645	+10.0	1,035	+60.5	・サマー女性衣料（+240.9%） ・女性レインウエア（+181.8%）
履 物 安全靴・足袋・長靴・厨房靴等	3,682	+0.9	4,701	+27.7	・アスレシューズ（+88.1%） ・厨房シューズ（+93.9%）
作 業 用 品  軍手・保護具・レインスーツ等	5,557	+10.3	7,177	+29.2	・レインウエア（+69.7%） ・ヤッケ、ウィンドブレーカー（+62.3%）
そ の 他	66	△1.2	76	+15.4	-
合 計	21,675	+8.6	28,858	+33.1	

前年まで「その他」に含まれていたユニフォームを別記しております。その他は本部「直販部」売上となります。

販売状況（PB商品）

■ PB商品売上高132億2百万円(前年同期比+68%)

- チェーン全店売上PB比率45.9%（前年同期比+9.8ポイント）
- PB商品 789アイテム（前年同期比+169アイテム）
- ブランド別販売状況（2019年4月～6月）

ブランド名	アイテム数(前年)	販売点数 (前年同期比)	販売金額 (前年同期比)
 ワーク&アウトドア	125 (31)	181.4万点 (303.6%)	38億55百万円 (311.3%)
 ワーク&スポーツ	139 (31)	247.5万点 (714.1%)	21億49百万円 (681.3%)
 高機能レインウェア	23 (5)	15.6万点 (915.5%)	6億74百万円 (784.4%)
合計	287 (67)	444.5万点 (462.5%)	66億78百万円 (407.3%)

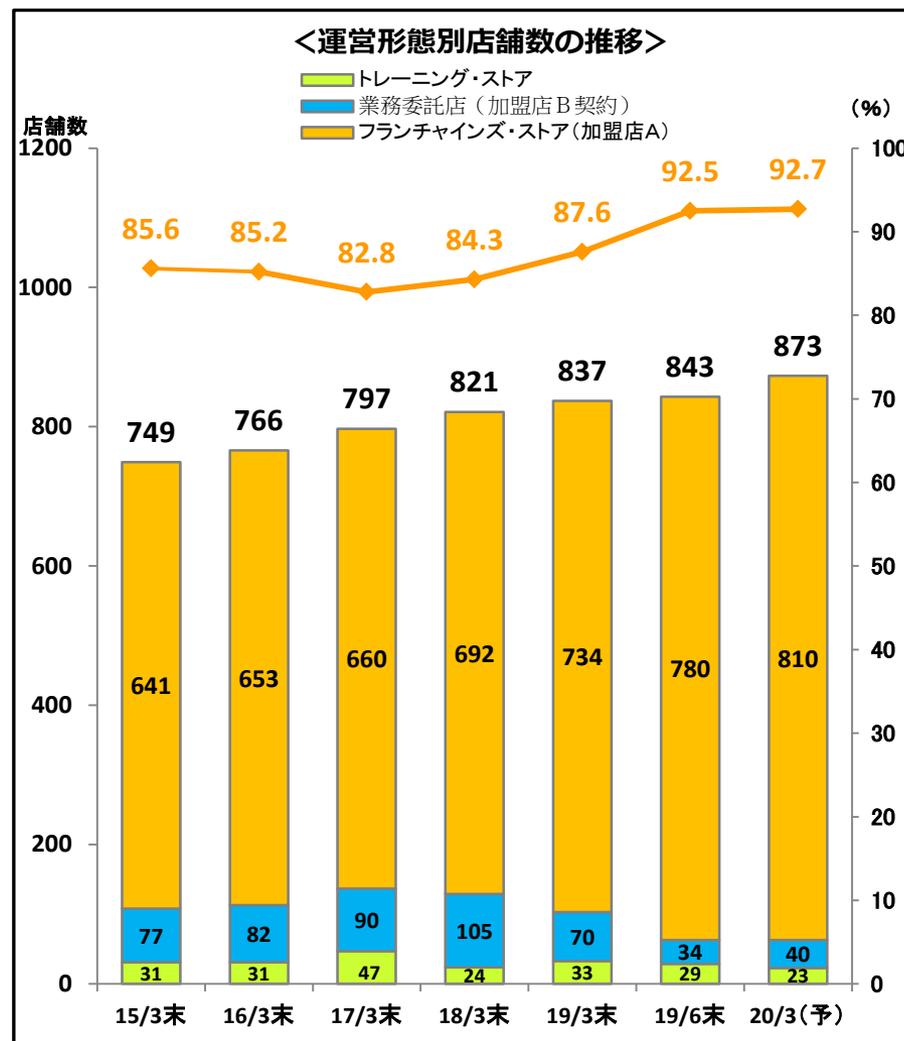
3ブランド商品の伸長 = 「客層拡大」

■ フランチャイズ比率92.5%（前期末比+4.8ポイント）

● 個店売上の向上で F C 化が加速

形態	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア (業務委託店からの変更)	+48 (38)	△2	+46
業務委託店	+2	△38	△36
トレーニング・ストア	+5	△9	△4

※2019年3月末比較



- 第1四半期決算の概要
- 今後の計画について
- 2020年3月期決算の進捗
- 第1四半期決算の詳細

■ ワークマンプラスの伸展（客層拡大）

出店加速と既存店への波及効果を継続するための
改装推進、PB商品の開発、プロモーション

■ 法人向け商品の強化（プロ顧客の囲い込み）

「品質・機能・価格」をさらに追求した製品づくり
G-NEXTシリーズ、EDLP商品の拡充

■ データ経営

生産から販売まで一貫したデータ活用

■ 2025年1,000店舗体制の構築

- 東京・神奈川・千葉・大阪・福岡を中心にドミナント強化
- 今後の出店はすべてワークマンプラスで展開予定
- 新規出店と改装で出店加速

<2020年3月期新規出店計画> () スクラップ&ビルド

	4~6月出店実績	2020年3月期出店
北海道・東北	0	6
関東	1(1)	6(1)
中部	3(2)	3(1)
近畿	0	5
四国	0	0
九州・沖縄	2	8
交渉中	0	2
合計	6(3)	30(2)



<WORKMAN Plus 出店計画>



■ 4コンセプトで展開

1



<ショッピングモール 2020年3月期出店計画 6店舗>

- 広告塔としての役割を担いながら、影響力の高いショッピングモールへ出店
- 投資額：約1,500万円～2,000万円/店

2



<ロードサイド 2020年3月期出店計画30店舗・スクラップ&ビルド5店舗>

- 人口の多い地域への出店で**ドミナント強化**を図る
- 新規出店に合わせて近隣ワークマン店舗の改装転換を実施
- 投資額：約6,000万円/店

3



<全面改装 2020年3月期改装計画 24店舗>

- 既存ワークマン店舗の**外観、内装、什器**を全面改装しワークマンプラスへ転換
- ラウンド売上が全国平均以下の店舗を中心に、**客層の拡大**を図り売上の底上げを行う
- 投資額：約1,500万円/店

4



<売場分離改装 2020年3月期改装計画 約90店舗>

- 一般とプロで売場を分離し、ポイントとなる**内装**（店舗入口ゴンドラ・マネキン等）をプラス仕様へ変更し**イメージの刷新**を図る
- 全面改装より**展開スピード**が上がるため、多くの店舗が**ワークマンプラスの波及効果**を実売へとつなげられる。
- 投資額：約200万円～300万円/店

■ PB商品の開発強化「客層の拡大・競合他社と差別化」

- 2020年3月期計画 PB商品売上高536億（前期比 約45%増）
（秋冬P B商品生産計画 300億（前期比2.7倍））

FieldCore・Find-Out・AEGIS 主カ3ブランドの展開

- 品質・機能・価格を追求し一般客や女性客など新たな客層へアプローチ
- フルコーディネート提案



ユニセックス商品・機能性女性ウェアの展開

- ユニセックス商品 「春夏37アイテム」・「秋冬70アイテム」
増加している女性客への対応強化



法人向け低価格ワーキングウェア「G-NEXTシリーズ」の強化

- 4月～6月販売金額10億97百万円（前年同期比+43.3%）4シリーズ展開
- ネット販売に価格で負けない商品開発
- 20年秋冬より連動商品を拡充し、プロ顧客の囲い込みを強化



上下買っても**3,000円** サマーワーキングウェア



体感**-3℃** 高機能サマーワーキングウェア



コスト**最高** 防寒ジャンパー **1,900円**

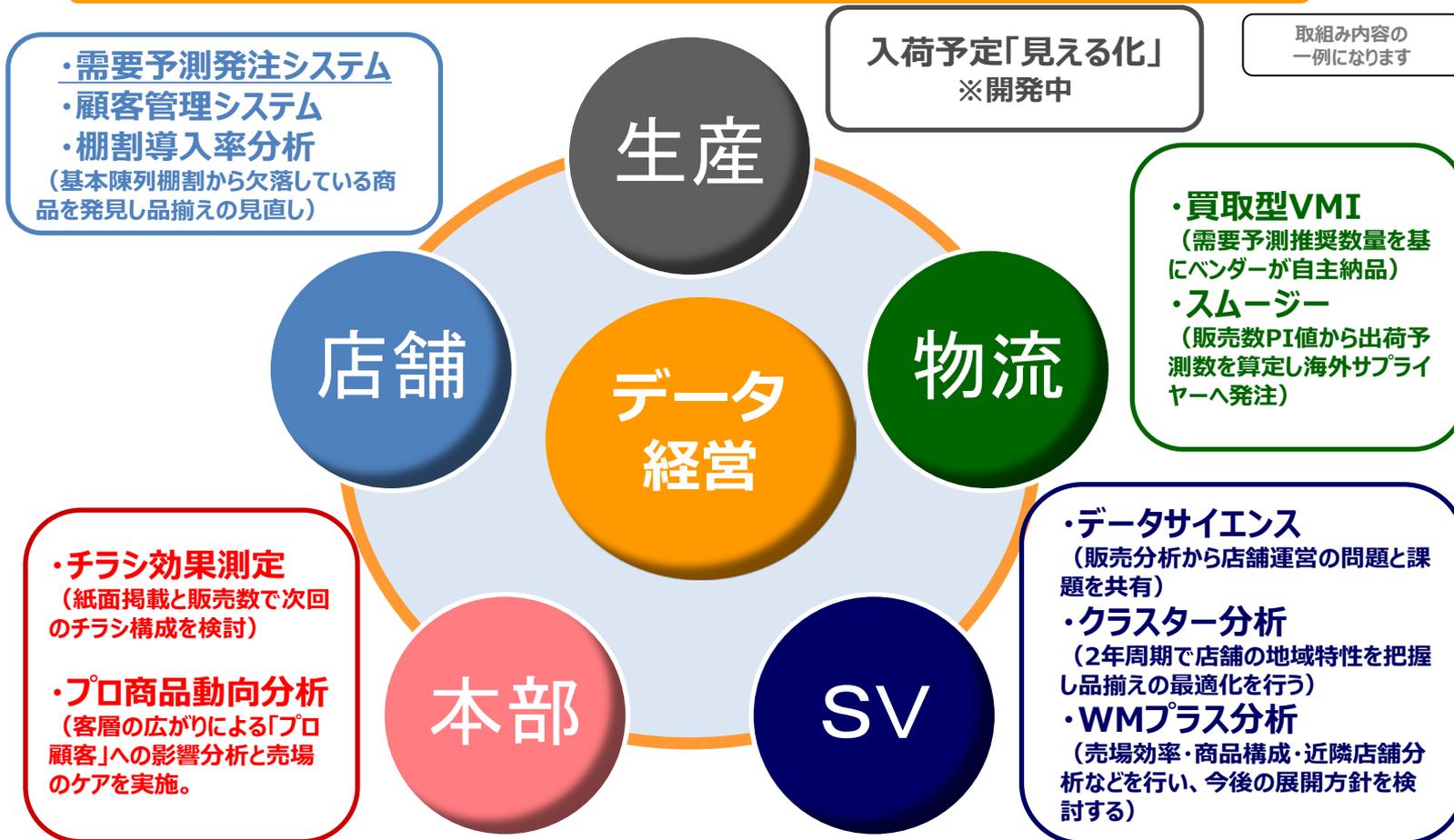


洗濯機で洗える防寒ジャンパー **2,900円**

■ 生産～販売まで一貫したデータ活用

- 販売データ抽出システム「d3」を基に「エクセル」によるデータ分析

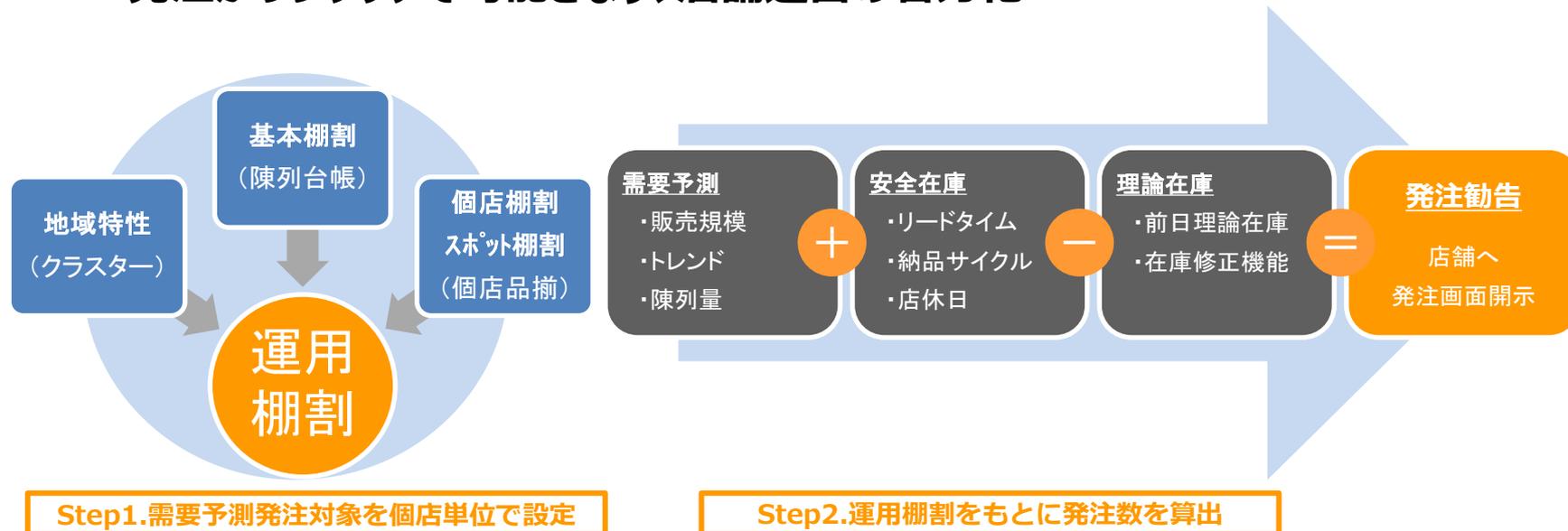
データ経営による売上拡大・効率経営・標準化



■ 需要予測発注システム導入推進（354店舗稼働中）

（2019年6月末時点）

- 在庫の最適化による販売機会ロスの抑制
- 発注がワンタッチで可能となり、店舗運営の省力化



- 稼働店舗と未導入店舗の比較

第1四半期売上高前年同期比
+ 3ポイント

■ マスコミ・インフルエンサー向け製品発表会

- 一般向け3ブランドを中心に製品を展示。春夏・秋冬年2回開催
- 実需につながる新商品情報の発信



■ ワークマンプラス内覧会・開店告知CM

- 新規エリアや競合チェーンが存在するエリアで積極的なプロモーション

一般客や女性客の来店を促す

- ・ 出店が後発の西日本を中心に認知度向上を図る
- ・ 関東・東北など早くから進出した地域での「ワークマン＝プロショップ」のイメージ刷新を図る

■ チラシ構成の刷新

- 多くの方が親しみやすいよう、**着用シーン**や**コーディネート提案**
- プロ顧客に**機能性**を分かりやすく訴求

(表面)



(裏面)



■ 売場分離改装店舗 リニューアルオープン

- 首都圏を中心に**90店舗改装予定**
- 実験店舗（2店舗実施）で目的商品がみつ
つけやすくなったと好評

リニューアルオープンセール開催
折込チラシの配布など一般客の来店増加を促す



(売場分離改装実験店舗)

- 第1四半期決算の概要
- 今後の計画について
- 2020年3月期決算の進捗
- 第1四半期決算の詳細

■ 純利益ベースで9期連続の過去最高益達成を目指す

(単位:百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		2020年3月期第1四半期	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	進捗
チェーン全店売上高	93,039	+16.7	103,500	+11.2	28,858	27.9%
(既存店売上高)	-	+14.0	-	+7.8	-	-
営業総収入	66,969	+19.4	71,866	+7.3	20,588	28.6%
販売費及び一般管理費	11,672	+18.3	12,833	+9.9	3,282	25.6%
営業利益	13,526	+27.6	15,011	+11.0	4,722	31.5%
経常利益	14,755	+24.5	16,300	+10.5	5,071	31.1%
当期純利益	9,809	+25.1	10,889	+11.0	3,191	29.3%
1株当たり四半期純利益	120円20銭		133円43銭		-	

- 第1四半期決算の概要
- 今後の計画について
- 2020年3月期決算の進捗
- 第1四半期決算の詳細

貸借対照表①

(単位：百万円)

資産の部	2019年 3月期末	2020年3月期 第1四半期末	増減	増減要因
流動資産	61,596	60,508	△1,088	
現金及び預金	44,220	41,510	△2,710	税引前四半期純利益 50億 65百万円 減価償却費 2億 92百万円 配当金支払額 △29億 78百万円
加盟店貸勘定	8,989	10,770	1,780	対象店舗が47店舗増加（711店舗→758店舗）
商品	7,198	7,152	△46	直営店店舗数（40店舗減少）店舗在庫6億54百万円減少 流通センター在庫3億81百万円増加 海外仕入の未着商品1億46百万円増加 S C倉庫88百万増加、オンラインストア在庫7百万減少
その他	1,188	1,075	△112	
固定資産	21,586	21,838	252	
有形固定資産	15,192	15,561	369	
建物（純額）	7,976	8,208	231	出店・閉店状況 出店8店舗（S & B含む）内、自社物件8店舗、 ワークマンプラス全面改装8店舗
構築物（純額）	1,303	1,349	46	
工具器具備品（純額）	1,013	1,123	110	
土地	3,988	3,988	-	
リース資産（純額）	885	859	△26	
その他（純額）	25	32	7	
無形固定資産	266	357	90	POSレジ入替によるシステム開発費
投資その他の資産	6,127	5,919	△208	
長期前払費用	611	600	△10	
繰延税金資産	1,128	993	△135	
差入保証金	4,373	4,311	△61	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
その他	13	13	0	
資産合計	83,183	82,346	△836	

貸借対照表②

(単位：百万円)

資産の部	2019年 3月期末	2020年3月期 第1四半期末	増減	増減要因
流動負債	13,281	12,365	△915	
買掛金・加盟店買掛金	4,972	4,411	△560	
未払金	2,324	3,228	904	
未払法人税等	3,291	1,754	△1,537	
未払消費税等	504	430	△73	
その他	2,188	2,541	352	配当金源泉税3億73百万円増加
固定負債	2,975	2,980	4	
リース債務	1,017	987	△29	
資産除去債務	1,108	1,136	28	
その他	849	856	6	
負債合計	16,256	15,345	△910	
株主資本	66,876	67,088	212	
純資産合計	66,927	67,000	73	
負債純資産合計	83,183	82,346	△836	

損益計算書①

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期累計期間		2020年3月期 第1四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	3,889		5,517		+41.9	
加盟店からの収入	3,108		4,566		+46.9	加盟店期中平均店舗数 前第1四半期 706店舗、 当第1四半期 765店舗 59店舗増 加盟店売上高 前第1四半期 195億 55百万円、 当第1四半期 263億 62百万円 34.8%増 荒利率 前第1四半期36.0%、当第1四半期36.2%
その他の営業収入	780		951		+21.8	国内ベンダー仕入前年同期比24.1%増加による業務受託料収入1億63百万円増加
売上高	11,009		15,070		+36.9	
直営店売上高	2,120	(100.0)	2,495	(100.0)	+17.7	直営店期中平均店舗数76店舗 (39店舗減) ショッピングセンター、ワークマンプラスの売上増で直営店店舗数減をカバー
加盟店向け商品供給売上高	8,888		12,575		+41.5	F C店期中平均店舗数765店舗 (59店舗増)
営業総収入	14,898	100.0	20,588	100.0	+38.2	
直営店売上原価	421	2.8	7	0.0	△98.1	
加盟店向け商品供給売上原価	8,888	59.7	12,575	61.1	+41.5	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	9,310	62.5	12,583	61.1	+35.1	

損益計算書②

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期累計期間		2019年3月期 第1四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,698)	(80.1)	(2,487)	(99.7)	+46.4	海外直接貿易取引が前年同期比207.9%、 為替による利益が17.3%増加 P B比率向上により値入率0.3%上昇
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	5,587	37.5	8,005	38.9	+43.3	
販売費及び一般管理費	2,563	17.2	3,282	15.9	+28.0	増減要因 人件費 約1億37百万円増加 販売費(加盟店顕彰金) 約1億61百万円増加 流通センター運営費用 約2億61百万円増加 SC・EC運営費、品質管理 約1億1百万円増加 修繕費等一般管理費 約1億96百万円増加 直営店期中平均店舗数減 約1億6百万円減少 家賃等一般管理費 約32百万円減少
営業利益	3,023	20.3	4,722	22.9	+56.2	
営業外収益	315	2.1	363	1.8	+15.3	
営業外費用	14	0.1	14	0.1	+2.7	
経常利益	3,325	22.3	5,071	24.6	+52.5	
特別利益	-		1	0.0	-	自社物件契約満了による建物売却
特別損失	7	0.1	7	0.0	+2.7	減損損失 返却予定店1店舗、約3百万円 ワークマンプラス改装看板交換 約4百万円
四半期純利益	2,104	14.1	3,191	15.5	51.7	

■ 2020年3月期出店予定候補地

年月	①モール	②新店 (S & B)	③全面改装	④分離改装	累計
前期	3店舗	6店舗	3店舗	0店舗	12店舗
19/4	ららぽーと湘南平塚	日田	和歌山榎原 さいたま大和田	-	167店舗
5	-	豊橋北岩田 西那須野	守山吉根 名古屋中川法華 佐野高萩	-	
6	-	沼田薄根 直江津 白山 安曇野豊科 鹿児島中山	新潟山木戸 新発田 松本埋橋	-	
7	-	-	-	浦和下大久保 相模原淵野辺	
9	トレッサ横浜	旭川旭町 福岡今宿 大野城仲畑 熊本平田	日立日高 札幌新川 江別大森 高松三名	28店舗	
10	ららぽーと沼津 テラスモール松戸	矢板 南仙台 気仙沼鹿折 堺豊田 福岡吉塚	岩沼 ひたち野牛久 山形南原 堺百舌鳥赤畑	60店舗	
11	-	伊勢崎バイパス	八戸長苗代 宇部流川 徳島論田		
12	-	出水 小樽 半田有脇 松原 小倉長行 熊本桜木東	岐阜金園 津河芸		
20/1	-	山鹿	福山南本庄 高知高松		
3	ららぽーと和泉 (交渉中)	川崎大師 前橋南インター 小田急相模原 柏桜台 北広島 北斗七重浜 寝屋川木田 岸和田加守 津島愛宕 香芝 浦添経塚	さいたま佐知川		
累計	8店舗	42店舗	27店舗	90店舗	167店舗



- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動すること考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

株式会社ワークマン

銘柄コード：7564（JASDAQ）

お問い合わせ先：財務部IRグループ

TEL：03-3847-8190

E-mail：wm_seibi@workman.co.jp

https://www.workman.co.jp/